野田市阿部沼第１排水区（宝珠花地区）大規模雨水処理施設整備事業計画

（様式１）

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　容　・　施　策　等 |
| 選定理由 | 阿部沼第1排水区（宝珠花地区）は、次木親野井特定土地区画整理事業の完了後に、住宅開発が進められており、当該地区を縦断する県道17号線（主要地方道結城野田線）は、東武野田線の主要駅と関宿中央ターミナルを結ぶバス通りであるほか、埼玉県、茨城県などへの物流における重要路線である。  また、同地区においては、平成16年から令和元年までの間に継続的に浸水被害が発生しており、平成27年9月9日に時間最大65mm/hrの降雨を記録した際は、20件（床上浸水：2件、床下浸水：8件、道路冠水：10件）の浸水被害、平成29年7月4日に時間最大74 mm/hr（既往最大降雨）を記録した際は、6件（床下浸水：3件、道路冠水：3件）の浸水被害が発生している。  以上を踏まえ、同地区について、都市機能の確保及び個人財産の保護の観点から、浸水被害を防止するため、早急な浸水対策を実施する必要がある。 |
| 整備目標 | 1. 本計画における対象降雨   ・本計画におけるハード・ソフトを含めた対象降雨：74 mm/hr（既往最大降雨）  ・目標とする理由　　　　：平成29年7月4日の台風3号にて野田雨量観測所（江戸川河川事務所）で観測した既往最大降雨  　　・ハード整備による整備水準の目標： 50mm/hr（5年確率降雨）   1. 目標設定   ⅰ) 都市機能の確保の観点：緊急輸送道路の浸水を20cm未満に抑える。  ⅱ) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。  ③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について  ⅰ)ハード対策  5年確率降雨（50㎜／hr）における浸水被害の防止を目的として、雨水調整池及びそれに付随するポンプ施設並びに雨水幹線を整備する。また、既往最大降雨（74㎜／hr）においては、緊急輸送道路の浸水を20cm未満に抑え、家屋の床上浸水を防止する。  ⅱ)ソフト対策及び自助  5年確率降雨（50㎜／hr）を上回る降雨（既往最大降雨74㎜／hr）においては、下水道管理者による内水ハザードマップの周知などの情報提供、地域住民等による土のう設置などにより、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害を最小限にとどめる。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 内　容　・　施　策　等 | | | |
| 内水ハザードマップ策定状況 | * 有　　　 （令和　年　月　日策定済み）   ・ 策定予定　（令和8年3月末策定予定） | | | |
| 主な事業  内容 | 公助 | ハード対策 | 下水道管理者 | ・雨水調整池及びポンプ施設の整備  　阿部沼第1号調整池V＝23,100㎥（ポンプ：0.55㎥/s）  　阿部沼第2号調整池(上段+下段)V＝29,400㎥  （ポンプ：0.32㎥/s）  ・雨水幹線の整備  阿部沼1号幹線  □1,600×1,400mm～□3,000×1,600mm　L=950m |
| 下水道管理者  以外 |  |
| ソフト対策 | 下水道管理者 | ・内水ハザードマップの周知など |
| 下水道管理者  以外 | ・土のう提供  ・防災ハンドブックなどによる大雨対策の啓発活動 |
| 自助 | ハード対策 |  | ・各戸土のう設置・開発行為における事業地内の雨水流出抑制 |
| ソフト対策 |  | ・地域における共助による避難支援体制作り |

年度計画（百万円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 令和  6年度 | 令和  7年度 | 令和  8年度 | 令和  9年度 | 令和  10年度 | 令和  11年度 | 令和  12年度 | 令和  13年度 | 令和  14年度 | 令和  15年度 | 計 |
| 雨水幹線 | 0 | 0 | 0 | 0 | 233 | 233 | 233 | 233 | 263 | 270 | 1,465 |
| 雨水調整池 | 423 | 200 | 172 | 139 | 417 | 482 | 482 | 432 | 322 | 322 | 3,391 |
| 計 | 423 | 200 | 172 | 139 | 650 | 715 | 715 | 665 | 585 | 592 | 4,856 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　目 |  | 内　容　・　施　策　等 |
| 整備効果 |  | ＜事業評価の内容＞  浸水被害の軽減便益：7,801百万円が削減される。  Ｂ／Ｃ：1.3  経済的内部収益率：4.78％  ※Ｂ／Ｃ、経済的内部収益率は阿部沼第１排水区（宝珠花地区）で予定している次期計画を含めた事業全体での数値である。  ソフト対策、自助の整備効果等：内水ハザードマップの情報提供、地域住民等による土のう設置などにより、浸水被害を最小限にとどめる。 |
| 放流先河川との調整状況 |  | 本地区は、六丁四反水路（一級河川利根川水系）を放流先とする。  　阿部沼第1排水区（宝珠花地区）から六丁四反水路への許容放流量は、5年確率降雨時で1.4㎥/sに制限されている。  阿部沼第１排水区（宝珠花地区）で予定している5年確率降雨に対応した整備を行った場合の六丁四反水路への放流量は0.55㎥/sであり、許容放流量を下回っているため、河川能力と整合している。 |
| その他 |  | 当地区では、開発行為の際、事業地内に雨水流出の抑制施設を設置するよう、指導している。 |